

1年に1度の成果発表会！ 「古石場スプリングステージ」

古石場文化センターで定期的に活動するグループが、日頃の成果を披露するステージを開催します！参加団体も様々、幅広いジャンルの音楽をお聴きください。



★参加団体をご紹介★(予定)
アーバンズ、ウクレレで楽しく唄おう、FA ギタークラブ、大野ウクレレ教室、OBAsing、合唱団 KADODE、木場 柏太鼓、こどものためのお箏教室、TAIKO-LAB 江東、古石場三味線クラブ、ドリームスクエアジャズオーケストラ、フルーツ教室プルメリア

(五十音順)

2018
2月18日(日) 11時開演 **入場無料**
会場：古石場文化センター2階 大研修室

おすすめポイント
★ステージを見て
元気をもらおう！
★新しい趣味を
さがしているあなた♪
ヒントにつながるかも！



古石場ニュース

石から生れたふるいしくん。ラーメンがおいしい季節だね！

牡丹町商店街の中華屋 2TOP、影近さんと中華三幸苑さんのラーメンチャーハンを食レポート！

最強の組み合わせ「ラーメン&チャーハン」

影近



うすい色のスープに浮かんだ具たくさんが幸せ・・・

創業50年以上続く影近(かげちか)のれんをくぐると長年地元で愛されてきたアットホームな空気がなんとも心地よいです。今回の特集はラーメン！と思いつつ、種類豊富な定食も気になるところ。お昼は定食がお得、夜も安く飲めるよ！とお隣の常連さんが教えてくれました。

住所 江東区古石場3-3-8
電話 03-3641-9189
定休日 土曜日 11時～19時

ラーメンチャーハン(800円)を頼むと「結構量が多いからね」と店主さん。色の薄いしょうゆベースのスープに、ピカピカの具がたくさん！ネギ、メンマ、チャーシュー、なんと、わかめと王道の具材の中に入るぶくぶくのさやえんどうがうれしい。丸く盛られたチャーハンに程よくパラパラしていて、少しずつ崩して食べるのがしあわせです。ラーメン、チャーハンと交互に無心に食べていると最初の助言なんてなんのその、一気に完食！この満腹感、一度味わうべき！

中華三幸苑



昼も夜ものれんをくぐりたい THE 王道中華スープ

牡丹町を歩いていると思わずのれんの中に吸い込まれる、中華三幸苑(ちゅうかさんこうえん)。最近は何と「お寿司」が食べられる中華屋さんということで話題になりました。手づくり餃子(5個400円)もおすすめです。今回は王道メニューのラーメン半チャーハン(700円)を注文。

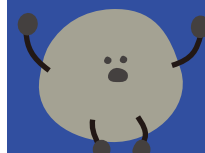
住所 江東区牡丹3-7-6
電話 03-3641-791
定休日 日曜日 17時～22時
祝日不定休

麺類の種類は他にもタンメン、もやしそば、マーボーメン、などかなり豊富。周りのお客さんの注文を聞いていると心が揺らぎます・・・。ラーメンは油がキラリと光るコクのあるしょうゆベーススープ。上に乗ったチャーシューの肉感がとても充実していて、今度はチャーシューメンが食べたいな～と食いしん坊精神が止まりません。ラーメンにそっと寄り添うチャーハンは、ラーメンとバランスをとって薄口です。

この絶妙なハーモニーをぜひご賞味あれ！

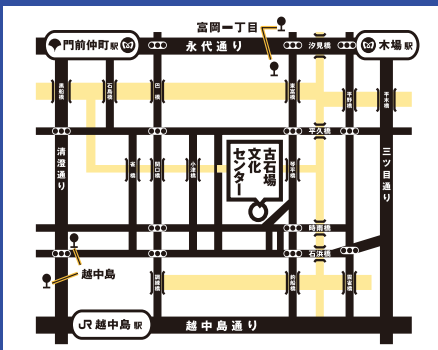
※金額は税込

古石場文化センターの旬な情報は facebook ページをチェック！



ふるいしくん登壇中！

New!HP



公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団

発行 江東区古石場文化センター
〒135-0045 江東区古石場 2-13-2
電話 03(5620)0224 FAX 03(5620)0258
毎月第1・3月曜日 休館

古石場文化センターってたまに映画上映しているよね、なんて思ったそこのあなた！実は、毎月1回の映画会「江東シネマプラザ」をはじめ、年1回の映画の祭典「江東シネマフェスティバル」、おまつりや協力イベントでの映画上映をカウントすると、なんと1年間に20本以上の映画を上映しているのです！

どうしてそんなに古石場文化センターは映画づくしなのか。それは世界の至宝・映画監督小津安二郎の生まれたところが、ここ深川地域であることに由来します。古石場文化センターは小津監督をはじめとした映画全般の文化継承の役割を担っているのです。

まちの小さな映画館、とまではいきませんが映画上映会は500円から鑑賞できる手軽なイベントばかりです。ぜひ一度足を運んでみてくださいね！

たくさんあります映画イベント

豪華なゲストに会える！ 江東シネマフェスティバル

今年は12/16・17の2日間にわたって開催した通称「シネフェス」。今回は落語家・林家たい平師匠やピアニストの新垣隆さんなど、豪華なゲストを迎えたスペシャルな映画上映会が実現しました。こどもが楽しめるイベントも充実したシネフェス。また来年も家族であそびにきてね！

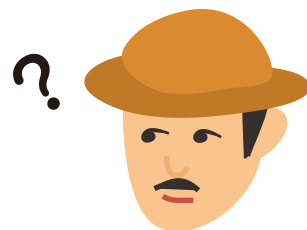


毎月1回土曜日に昭和の名画を中心とした会員制の映画会を開いています。2018年3月10日より新たに映画ラインナップをそろえ会員募集をします、おたのしみに～！

お問合せは古石場
文化センター
03-5620-0224

夏の祭・秋の祭 無料上映会は早い者勝ち★

夏と秋にある文化センターまつりで行う無料上映会は毎年大人気！完売必至の上映会、どうぞお見逃しのないようにご注意ください。



古石場文化センターは
どうして
「映画」を
上映しているの？



音声ガイド付
上映

3/24 (土) 『愛と死の記録』

監督 蔵原惟繕 / 出演 吉永小百合、渡哲也

初めて知った愛の歓びと幸せに酔う若い二人を襲った運命—吉永・渡の新コンビで原爆症の青年とひたむきな愛を捧げる乙女を描く純愛巨篇。【昭和41(1966)年/日活/92分/モノクロ】

月1回のたのしみ江東シネマプラザ

知ってほしい広がってほしい、 すてきな活動・江東シネマアイ



これだけは伝えたい
音声ガイドの魅力

★映画の音・
場面を表現する言葉・
ナレーションの雰囲気“三位一体”感！

映画の音声に自然に溶け込む音声ガイド、ぜひ一度ご体感ください♪FMラジオでどなたでも聞けます！ラジオの無料貸出もあります。

ガイド制作に携わっていると気づく、
こんな魅力も・・・

ガイドを制作するには、映画をじっくり細部まで繰り返し見返すため、より深く作品を味わうことができるそう。試行錯誤を重ね、日々お互いに切磋琢磨をしているとお話くださった江東シネマアイ。みなさんの素晴らしいチームワークが作品ひとつひとつに新たな魅力を吹き込んでいます。

音声ガイドを聞いた
お客様からのうれしい声♪

- ★とてもいい映画で感動した！
- ★映像が浮かびました！
- ★たのしかった！



「音声ガイド江東シネマアイ」は、古石場文化センターの「映画音声ガイド制作ボランティア養成講座」の修了生が中心となり、平成19年に立ち上げたボランティア団体です。古石場文化センターでの上映作品の音声ガイド制作に加え、福祉施設等で音声ガイド付き映画の出張上映や体験会を行っています。映画音声ガイドは目の不自由な方にも映画を楽しんでいただけるように、登場人物の動作や場面状況をセリフの妨げにならないようにシナリオ化して上映時にナレーションをFM放送で流します。

メンバー随時募集中★

ご興味ある方は古石場文化センター
までお問い合わせください！



江東シネマアイのみなさん にお聞きました！

活動をはじめたきっかけは？

- ◆もともと映画を観ることが大好きで、新聞で紹介されていた音声ガイドに興味をもった。
- ◆音訳技術の中でも、まさに音声ガイドに必要な技術「画像を読む」ことに興味があった。
- ◆映画を観ること、文章を書くことが好きで、ナレーションに興味を持ったことがきっかけ。
- ◆当時小学生だったこどもに読み聞かせをしていたので、声を出すことに興味があった。

音声ガイドのつくりかた

- ①分担してセリフおこしとガイドを作成
→全員で検討
- ②視覚障がい者の方に実際に聞いてもらう
(モニター会)
- ③録音・編集・CD作成をして

完成!!!

★すべてメンバーがおこなっています！